

# 青年研修

## 「マレーシア/広域消防・救急救命」

対象国：マレーシア

受入人数：7名

受入期間：2018年8月26日～2018年9月12日



マレー半島、ボルネオ島から成るマレーシアは東南アジアの中心に位置し、その国境はタイ、シンガポール、インドネシアと接しています。このコースではマレーシアの異なる州から7名の研修員が来日し、日本で最も広い所管面積を管理する「とちぎ広域消防局」について、その特徴や体制などについて学びました。



出典：外務省ホームページ

人材不足や財政的な問題から、迅速且つ効率的な消防・救命活動がマレーシアでは課題となっています。平成28年に十勝地方が広域化されたことにより、その機能的な活動を実例にマレーシアにおいてどのような体制構築が可能かを考えながら、講義や視察を通して多くのことを学びました。

また、平成27年に発生したマレーシアのサバ地震(サバ州)により防災に対する意識が急速に高まったことから、研修員は日本の災害対策にも注視して知見を広めました。



救急車に搭載されている機材を見学しました。



胸骨圧迫や人工呼吸の実習をとおして、応急処置の大切さを体感しました。





帯広市の自主防災倉庫を視察し、普段からの備えることの重要性を実感しました。



消防署と消防団の関係性や活躍に、感銘を受けました。